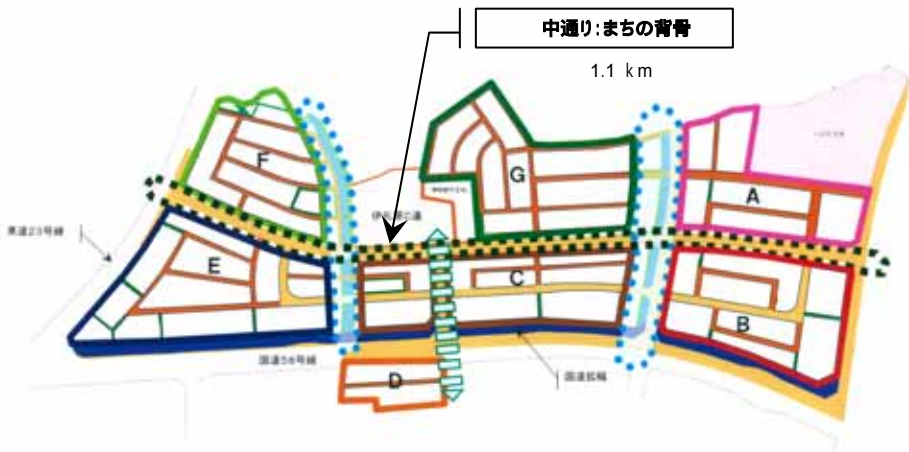


# 中通り:まちの背骨



## マスタープラン案イメージ

- ・ベーシックな雰囲気（「普通の上等」）で
- ・場所に応じた道路構成  
歩道4～5m+停車帯2mもしくは路肩1m
- ・建物の一階部分の壁面を1mセットバックすること考えられる
- ・1階店舗(パン屋、花屋、カフェなど)+上階集合住宅クスノキ、フィカスハワイなどの並木で緑陰の軸を作る
- ・駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限必要
- ・建物は極端な色を避ける

## 参考写真



那覇市 古島



沖縄市くすのき通り



渋谷区 代官山



フィカスハワイ

## 課題・提案

- ・緑陰の軸をつくり出すため、フィカスハワイの並木を植える。
- ・並木の連続性を維持するため、5mピッチを基準とし、10m以上は間隔を空けない。
- ・縁石の切り下げは並木を避ける（1敷地1カ所が原則）。
- ・歩道については、日常的な生活空間なので、シンプルで感じよく、管理しやすいものとする（アスファルトやインターロッキングなど）。
- ・植栽マスは余裕を持たせ、樹木に良い足元の環境をつくる。
- ・樹木の連続性の確保、駐車場の取り方の検討が重要。最初から木を植えておくと、建物を建てる方も木を切つてまで駐車場を作らない
- ・セットバック等の詳細については、地区計画で検討する。
- ・建物の外壁の色は派手な原色を避け、原色を用いる場合はアクセントカラーに限る。

## 中通りの整備イメージ（案）

### ●建物の作り方

詳細は地区計画で検討する必要がある  
(例: 建物の外壁の色は派手な原色を避ける、ただしアクセントカラーはOK, セットバック等)



作画 小野啓子

### ●緑陰をつくる並木

- ・樹種はフィッカスハワイ
- ・できるだけ並木の連続性を維持するため、5mピッチを基準とし、10m以上は間隔を空けない
- ・車路等の切下げは並木を避ける(1敷地1ヶ所)



イメージ写真：フィッカスハワイの並木

### ●奈留川の橋の欄干

- ・アルミ等の既製品にせず、まちづくり協議会と担当課が調整し、奈留川整備や公園に調和するものとする

### ●歩道の作り方

- ・舗装はシンプルで感じよく、管理しやすいものとする(アスファルト、グレーのインターロッキング等)
- ・樹木の植栽マスは余裕を持たせる